

# 令和5年度第1回東京都高齢者保健福祉施策推進委員会

## 保険者支援部会

### <議事要旨>

日 時：令和5年7月18日（火曜日）午後2時から午後3時まで

開催方法：MicrosoftTeamsによるオンライン会議

出席者：西川部会長、古本委員、直井委員、大谷委員、西田委員、清水委員、松本委員

議題：（1）要介護認定に係る保険者支援策について

（2）自立支援、介護予防・重度化防止等の取組に係る保険者支援策について

議事内容：議題に沿って以下の議論が行われた。

#### 【議題（1）：要介護認定に係る保険者支援策について】

- ・資料4を用いて、要介護認定に係る保険者支援策について事務局より説明。

#### <委員による意見等>

- ・10月以降もweb研修は継続してほしいが、集合研修も併存して実施してほしい。
- ・集合研修ではグループワークにて事例検討をやっていただきたい。調査員の出入りが多いこともあるが、認定調査のみやっており現場の経験がない方も多数いる。このため、事例検討は大事だと考える。
- ・集合で行った研修の様子を動画で掲載してほしい。
- ・研修に模擬事例がないのであれば、そういうのもあっていいのではと思う。事例が多様化しているため、模擬事例を通して様々な事例を知っておくことが大切と考える。
- ・冊子については紙ベースも必要だが、調査員がいつでも確認できるように、web上で掲載もしてほしい。
- ・冊子についてはポイントを押さえて分量を減らし、簡易なものにしてほしい。
- ・冊子については作成途中の段階で各保険者から意見を募っていただけるとよりよいハンドブックができるのではと考える。

#### 【議題（2）：自立支援、介護予防・重度化防止等の取組に係る保険者支援策について】

- ・資料5を用いて、第9期に向けた保険者支援策の今後の方向性について事務局より説明。

<委員による意見等>

- ・点検ツールは、業務過多で内容を学ぶこともままならない状況。複数の部署と連携して実施していくというのも難しい。東京都には研修等により、より多くの担当者の理解を深めてほしい。
- ・点検ツールは職員の負担が大きい。実施するのであれば、第9期がスタートし、落ち着いてからがよいと考える。
- ・見える化システムについては、将来推計等を行うにあたり、操作研修を実施していただければと思う。
- ・計画を策定するにあたり、地域の特性を盛り込んで計画を立てていかなければと考えている。計画策定にあたり、東京都には助言や指導等の支援をお願いしたい。

(都) 具体的な話について直接都にご相談いただければと思う。また、技術的助言や離島会議等を通して都を活用いただければと思う。

- ・都と国保連で協働して行っている個別支援については、昨年度実施保険者数も少なかったことを踏まえ、保険者の要望を捉えながら内容を充実して実施していきたいと考えている。
- ・参考資料11で「保険者へのフィードバック」として「技術的助言により把握した共通の課題や、効果的な取組事例について取りまとめ、保険者に報告する。」とあるところについて、取組強化ポイントの1つとして実施するとよいのではないか。
- ・ケアマネ不足について、研修費の補助を行っている自治体もあるが、自治体の財源の差に左右されるため、都の方でも補助を考えていただければと思う。また、高齢化に伴い給付費の増大が起きているが、給付費の増大の話がケアマネの質の問題とされる一面がある。これもケアマネの魅力低下の原因一つと考えており、是非頑張っているケアマネにも焦点を当ててほしいと考える。最後に、自治体によってはケアマネの団体がいないところもある。団体を作るサポートを自治体が行えるような、システム作りをしていただければと思う。

(都) ケアマネについては、区市町村へのヒアリングや調査等により、状況の把握に努めている。頂いたご意見も踏まえて、引き続き検討していきたい。